

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第40集

## 長崎県埋蔵文化財調査年報 29

[令和2年度調査分]

2021

長崎県教育委員会



## はじめに

長崎県には先人たちの残した3,800箇所を超える遺跡（埋蔵文化財）があります。こうした埋蔵文化財は地域の歴史を物語り、地域づくりや人づくりに活用できる国民共有の財産です。私たちはこれら先人から受け継いだ貴重な文化財を適切に保存・活用し、後世の人々に伝えていく責務があります。

長崎県教育委員会では、国・県の公共事業に伴う開発が行われる際には事前に予備調査及び開発部局との協議を行って埋蔵文化財の保護を図り、その結果やむを得ず保護できない場合においては記録保存のための発掘調査を実施しています。

令和2年度は早岐川河川改修工事に伴う発掘調査や島原道路建設工事に伴う発掘調査、長崎県佐世保こども・女性・障害者支援センター新築移転工事に伴う発掘調査、旧県庁舎跡地活用事業に伴う内容確認調査などを行いました。また、「原の辻遺跡」の全容解明のための内容確認調査を継続的に実施しています。

本書は、令和2年度に長崎県教育委員会が行った全ての発掘調査の概要、長崎県埋蔵文化財センターが行った調査研究や遺物の保存処理、展示、普及啓発などの事業概要について掲載しております。本書が県民の皆様の地域の歴史や文化への理解の一助になれば幸いです。

令和3年8月

長崎県教育委員会教育長

平田修三

## 例　　言

- 1 本書は長崎県における埋蔵文化財保護行政の現状と長崎県教育委員会が令和2年度に実施した発掘調査の概要を収録したものである。
- 2 調査遺跡名の【】内は長崎県教育委員会の実施した遺跡調査番号である。
- 3 調査概要の遺跡位置図は長崎県教育庁学芸文化課のウェブコンテンツ『長崎県遺跡地図』を使用している。
- 4 IVについては各遺跡の調査担当者と調査概要の執筆者を文末に記している。
- 5 本書の編集は長崎県埋蔵文化財センターが行った。

## 本　　文　　目　　次

I.	長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状	1
1.	県が実施した発掘調査の現状	1
2.	市町が実施した発掘調査の現状	3
II.	本県が主催する文化財保護に関する研修事業	6
1.	長崎県市町文化財保護行政主管課長会議・担当者会議	6
2.	開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修	7
3.	埋蔵文化財担当者専門技術研修	7
III.	長崎県埋蔵文化財センターの事業	8
1.	調査研究事業	8
2.	保存処理事業	8
3.	教育普及事業	10
(1)	オープン収蔵展示	10
(2)	情報誌	11
(3)	ホームページおよびFacebookの公開更新	11
(4)	Dr. ハルのバックヤードツアー（動画）	11
(5)	体験学習	12
(6)	バックヤードツアー	12
(7)	資料貸出・閲覧・掲載許可	12
(8)	長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援	13
(9)	学校教育支援「埋文MAIBUN学びのサポート」	14
(10)	現地説明会	15

4.	東アジア考古学研究事業	16
(1)	東アジア国際シンポジウムの開催	16
(2)	東アジア諸国の研究機関との連携	17
(3)	長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第11号の刊行	17
IV.	令和2年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要	18
1.	長崎西役所跡（範囲内容確認）【202002・06・12】	18
2.	根引池遺跡（隣接地）（試掘調査）【202003・18】	19
3.	高岩の山城（隣接地）（試掘調査）【202004】	20
4.	早岐瀬戸遺跡（本調査）【202005】	21
5.	定光寺前遺跡（範囲確認）【202007】	24
6.	石屋洞穴（試掘調査）【202008・19】	25
7.	宮下貝塚（範囲確認）【202009】	26
8.	一乗院遺跡（範囲確認）【202010】	27
9.	津吹遺跡（本調査）【202011】	28
10.	原の辻遺跡（範囲内容確認）【202013】	29
11.	佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡（本調査）【202014】	30
12.	下源在高野遺跡（隣接地）・灰ノ久保遺跡、原口B遺跡（隣接地）、岡城（夏峰城）跡（隣接地） （試掘・範囲確認）【202015・202016・202017・202020】	31

(報告書抄録)



## I. 長崎県の埋蔵文化財保護行政の現状

令和2年度の周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の届出・通知（法第93・94条）は、540件であった。令和元年度と比較して93件の大幅増となっており、好景気を背景にした公共事業や民間開発の活発化にその要因を求めることができる。また、本県においては近年、文化財専門職員の採用が進みつつあり、これまで届出が提出されていなかった市町において、埋蔵文化財保護への理解が徐々に浸透し始めたこともその一因として考えられる。その一方で、令和2年度は工事届を提出しないまま土木工事が行われた、いわゆる「無届工事」が20件発生している。発生の原因の多くが、工事届制度に対する理解や認識の不足であり、事業者への正確な情報提供と届出制度の周知徹底が求められている。

発掘調査の届出・通知（法第92条・99条）は57件で、92条届出が4件、99条通知が53件であった。99条通知のうち、開発に伴う記録保存を目的とした本発掘調査は14件行われており、島原半島における農業基盤整備事業に伴う調査が過半を占める。新幹線建設や西九州自動車道建設のような国営の公共事業に伴う発掘調査はピークを過ぎたものの、島原道路建設に向けた試掘・範囲確認調査が本格化しており、民間開発の増加と共に本発掘調査の漸増が続くものと予測される。

### 1. 県が実施した発掘調査の現状

令和2年度は3件の本発掘調査を実施している。島原市津吹遺跡においては、一般国道251号線島原道路（出平有明バイパス）建設に伴って1,060 m<sup>2</sup>の調査を実施した。津吹遺跡は雲仙岳から有明海に向けて広がる舌状台地に立地する縄文時代を主体とする複合遺跡である。調査の結果、時期不詳の溝状遺構、ビットのほか、樹痕、倒木痕等が確認されており、遺物としては、縄文時代早期の押型文土器、晩期の組織痕土器、弥生時代中期土器、古墳時代の土師器などが出土している。

佐世保市早岐瀬戸遺跡では、昨年度に引き続き、早岐川河川改修工事に伴って本発掘調査を行っている。遺跡は早岐瀬戸に面した沖積地に立地し、17世紀前半に平戸藩によって築造された宿場・港湾などの性格を持つ町とされる。令和2年度の調査面積は約1,570 m<sup>2</sup>で、海に面する遺跡の南西側の調査を行った。発掘調査の結果、埋立工事に伴う石垣が15列確認されており、江戸時代に段階的に行われた埋立造成による遺跡形成の過程が明らかになった。石垣の裏込めや石垣前面の堆積土からは、大量の陶磁器が出土しており、融着や焼きひずみのある失敗品、窯道具の出土とあわせて近世陶磁器の積出港としての有様をうかがわせる。その他にも、江戸時代のビット、土坑、カマド跡、溝、井戸などの町屋に伴う遺構が多数確認されている。下駄や櫛、加工材などの木製品、銭やキセルなどの金属製品、石臼、砥石などの石製品も多く出土しており、当時の町屋における生活の一日常をしのばせる。

また本県としては初めて近代遺跡の発掘調査を実施しており、長崎県佐世保こども・女性・障害者支援センターの新築移転に伴い佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡の本発掘調査を400 m<sup>2</sup>行った。遺跡は、1900年に設置された旧陸軍の佐世保要塞砲兵連隊の病院跡で、特冠岳・但馬岳・弓張岳からのびる丘陵末端に立地する。調査対象地は病院の「管理所」と「附属家」があったとされる場所で、発掘調査の結果、「管理所」のレンガ基礎や「附属家」のトイレ遺構が確認されている。出土遺物としては、レンガ、ガラス、金属製品、木、陶磁器類などが出土しており、レンガの中には生産地が推定できる刻

印を有する製品も含まれる。九州地区においては近年、戦争遺跡などの周知把握のための分布調査を実施する自治体が増えており、それぞれの地域の成り立ちを踏まえた柔軟な遺跡保護のあり方が求められる。

遺跡の内容確認を目的とした調査では、壱岐市原の辻遺跡の調査を行っており、令和2年度は遺跡の北側に位置する閑縁地区において300m<sup>2</sup>の調査を行った。調査の結果、幡鉢川本流に注ぐ支流と考えられる自然流路や古代の道路状遺構、弥生時代の住居址、柱穴が確認されている。閑縁地区的調査は令和3年度も引き続き墓域の広がりなどを確認することにしており、史跡周辺の実態解明につながることが期待される。

また、長崎市長崎西役所跡では、旧県庁跡地の再開発に関連して令和元年度に引き続き内容確認調査を行っている。令和2年度は、遺跡の南東側と西側で調査を行っており、南東側の調査では、江戸時代から近代にかけて築かれた石垣が確認されている。石垣は、長さ約60m、高さ約6～7mの規模で残存しており、根石部分の確認の結果、築造年代が1610年代にさかのぼることが指摘されている。使用されている石材や形状、積み方は一様ではなく、目地にアマカワが使用されている部分も見られる事から、長崎奉行所から県庁舎の存続期間中に積み替えや補修が繰り返し行われていたことが分かった。また、石垣の前面には江戸時代から近代にかけて形成された町屋の跡も確認されており、近代2面、近世3面の遺構面の存在が確認できた。戦後に建設された県庁舎敷地の造成土の中からは、大量の瓦礫に混じて陶磁器、瓦、ガラス製品、金属製品、レンガ片のほか、花十字文瓦1点が出土しており、町屋跡からは中国景德鎮窯の磁器を含む近世陶磁器や瓦などが大量に出土している。県庁舎が立地していた台地西側の調査では、外周石垣の裏込めと考えられる栗石や近代のレンガ構造物、井戸などが確認されている。令和元年度の調査では、江戸時代にさかのぼる可能性がある土層と遺構が確認されていたが、今回調査区を拡大した結果、その下層から明治時代の陶磁器やレンガ片を伴う生活面が検出され、台地の西側部分は、明治時代の3代目県庁舎建設に伴って大きく削平されていたことが明らかになっている。令和2年9月12日に開催した現地説明会は、前日の雨で足元が悪いにもかかわらず480名の見学者を集め、遺跡の行く末に対する关心の高さをうかがわせた。

上記の内容を含め、県が令和2年度に実施した国・県の公共事業に伴う調査は、以下のとおりである。

#### 【国事業】

- ・西九州自動車道（佐々～松浦間）建設工事に伴う試掘・範囲確認調査（石屋洞穴ほか）

#### 【県事業】

- ・早岐川河川改修工事に伴う範囲確認調査及び緊急発掘調査（早岐瀬戸遺跡）
- ・佐世保こども・女性・障害者支援センター新築移転に伴う緊急発掘調査（佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡）
- ・島原道路（出平有明バイパス）建設工事に伴う試掘・範囲確認調査及び緊急発掘調査（津吹遺跡ほか）
- ・県道富江岐宿線拡幅工事に伴う範囲確認調査（宮下貝塚）
- ・雲仙温泉園地整備に伴う範囲確認調査（一条院遺跡）
- ・県庁跡地活用に伴う範囲内容確認調査（長崎西役所跡）
- ・壱岐市原の辻遺跡の保存目的の範囲内容確認調査など

## 2. 市町が実施した発掘調査の現状

県内市町において、令和2年度は11件の本発掘調査を行っている。うち、民間開発に伴う調査は2件で、残り9件は公共事業に伴うものである。

島原半島地域においては、特に農業基盤整備事業に伴う調査が多く、8件の本発掘調査が行われている。雲仙市火箱遺跡は、雲仙岳から広がる扇状地上に位置する縄文時代から中世までの複合遺跡で、愛津原地区畠地帯総合整備事業に伴い2,740m<sup>2</sup>の本発掘調査を行っている。今回の調査では、平成30年度の調査で確認された弥生時代中期末から後期の環濠の延長と考えられる溝、古代の掘立柱建物跡、中世の土坑墓や炭焼窯跡などの遺構が確認されている。また、これらに伴って、縄文時代晚期土器や石鏃、弥生時代中期土器、奈良時代から平安時代の土師器、須恵器など幅広い時期の遺物が出土している。火箱遺跡では、これまでの調査で旧石器時代から江戸時代にかけての遺構遺物が多く確認されており、継続して人々の営みがあったことが分かっている。遺跡の位置は、諫早と島原半島をつなぐ結節点にある。江戸時代には島原藩と佐賀藩諫早領の番所跡（原口番所跡）が設置された地点でもあり、島原半島の歴史を考える上で重要な遺跡であることから調査成果に注目が集まっている。

佐世保市天神洞穴遺跡では、民間の宅地造成に伴って本発掘調査が232m<sup>2</sup>行われた。天神洞穴遺跡は、天神山の丘陵南側の急崖地形に形成された旧石器時代から弥生時代にかけての洞穴遺跡で、市教委により過去2回発掘調査が行われている。今回の調査では、洞穴内部及びその前庭部、洞穴の上部の2箇所に分けて調査が行われた。洞穴内部・前庭部の調査では、地表下最大2.0mまで掘削を行い、旧石器時代から縄文時代前期・後期の遺物包含層と遺構が確認されている。また、洞穴上部の調査では、近代の造成で旧地形が一部消失していたものの、縄文時代の遺物包含層が確認された。主要な遺構としては石列遺構、集石遺構、石囲炉跡、土坑などが確認され、これらに伴って旧石器、縄文時代の土器及び石器、貝類や骨などの自然遺物も出土している。

保存目的の内容確認調査では、南島原市原城跡の発掘調査が令和2年度も行われている。原城跡は、国の指定史跡であり、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つである。南島原市では、平成30年度から原城跡二ノ丸の調査を継続して行っており、令和2年度は、これまでの調査で確認された遺構の広がりや内容を確認するために293.2m<sup>2</sup>の調査を行った。二ノ丸出丸の中央にあたるトレーニングでは、堅穴状遺構や大型の土坑、ピットが確認され、堅穴状遺構の床面からは、17世紀前半の陶器や人骨片、鉛製の銃弾などが出土している。また、不整形の大型土坑の埋土からも同様に17世紀前半の遺物や人骨片が出土しており、これらは「島原・天草一揆」に関連する遺構の可能性が高い。二ノ丸の曲輪縁辺部に設定したトレーニングにおいては、集石遺構や斜面地形に沿うように廻る溝状遺構、斜面地（切岸）を固めた土層堆積も確認されており、これまで不明であった二ノ丸の構造や場の利用を知る上で貴重な成果である。

このほか、国史跡の長崎市長崎原爆遺跡や壱岐市勝本城跡でも保存目的の内容確認調査が行われている。対馬市越高遺跡は、保存目的の内容確認調査を行い、令和3年2月に県の史跡に指定された。また、小値賀町沖ノ神嶋神社境内遺跡や長与町長与三彩窯跡も史跡指定に向けた調査が開始されている。近年は、地域の重要な遺跡について、それぞれの市町において調査研究活動が活発になっており、地域研究や埋蔵文化財保護の観点からも調査の動向や今後の展開に期待が寄せられる。

令和2年度 長崎県における発掘調査の履歴(1)

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	調査面積 (m <sup>2</sup> )	備考
長崎西古戦跡	長崎市	県(埋文)	2020/5/19	2020/10/30	跡地活用	範囲	1296.0	NNY202002
根引池遺跡(隣接地)	佐世保市	県(埋文)	2020/5/25	2020/6/5	道路	試掘	36.0	NBB202003
高岩の山城(隣接地)	佐世保市	県(学文)	2020/6/9	2020/6/19	道路	試掘	16.0	TKD202004
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	県(埋文)	2020/7/6	2021/1/21	川削	本調査	1570.0	HAS202005
長崎西古戦跡	長崎市	県(埋文)	2020/7/1	2021/8/21	建物基礎解体	工事立会	500.0	NNY202006
定光寺跡遺跡	壱岐市	県(埋文)	2020/7/29	2020/7/31	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	20.0	JKM202007
石屋洞穴	佐世保市	県(埋文)	2020/9/9	2020/9/16	道路	試掘	15.6	RWV202008
宮下貝塚	五島市	県(埋文)	2020/9/30	2020/10/6	道路	範囲	15.0	MYS202009
一栗院跡	雲仙市	県(埋文)	2020/10/5	2020/10/14	公園造成	範囲	33.3	ICJ202010
津吹遺跡	島原市	県(埋文)	2020/11/12	2021/1/27	道路	本調査	1060.0	THB202011
長崎西古戦跡	長崎市	県(埋文)	2020/11/5	2021/2/26	跡地活用	範囲	1215.0	NNY202012
原の辻遺跡	壱岐市	県(埋文)	2020/11/4	2020/12/25	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	300.0	HAR202013
佐世保要塞反攻隊銅像(病院跡)	佐世保市	県(埋文)	2021/1/12	2021/3/17	建物移設	本調査	400.0	ELB202014
下原山古戦跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2021/2/2	2021/2/26	道路	試掘	187.0	SGK202015
灰久・久保遺跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2021/2/2	2021/2/26	道路	試掘	26.0	HNK202016
原口1遺跡(隣接地)	島原市	県(埋文)	2021/2/2	2021/2/26	道路	試掘	55.0	HGB202017
根引池遺跡(隣接地)	佐世保市	県(埋文)	2021/2/2	2021/2/12	道路	試掘	62.0	NBK202018
石屋洞穴	佐世保市	県(埋文)	2021/2/24	2021/2/24	道路	試掘	36.5	RWV202019
岡城(筑城城)跡(隣接地)	雲仙市	県(埋文)	2021/3/2	2021/3/4	道路	試掘	40.0	NMJ202020
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2020/6/1	2020/6/12	住宅	範囲	40.8	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2020/9/9	2020/9/25	道路	範囲	8.0	
長崎京原遺跡(山王神社)	長崎市	長崎市	2020/6/25	2020/10/28	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	10.0	
桜町遺跡	長崎市	長崎市	2020/11/2	2020/11/13	その他建物(市庁舎駐車場)	範囲	4.0	
唐人横須賀	長崎市	長崎市	2020/6/16	2020/9/4	道路	範囲	6.3	
竹切川遺跡	佐世保市	佐世保市	2020/5/25	2020/5/22	宅地造成	範囲	8.0	
竹切川遺跡	佐世保市	佐世保市	2020/5/27	2020/5/28	宅地造成	範囲	5.8	
新田遺跡	佐世保市	佐世保市	2020/7/1	2020/7/3	土地採査	範囲	8.0	
轟城跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/8/5	2020/8/5	その他建物	試掘	25.0	
中里遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/7/29	2020/9/15	ガス・電気・水道等	試掘	2.0	
天神門戸遺跡	佐世保市	佐世保市	2020/4/21	2020/10/30	道路、住居、店舗、宅地造成	本調査	232.0	
門前遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/10/26	2020/10/30	その他開発(土石取引)	試掘	8.0	
宇久町東方	佐世保市	佐世保市	2020/10/26	2020/10/29	ガス・電気・水道等	試掘	12.0	
竹切川遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/11/17	2020/11/19	その他開発(売買)	試掘	2.0	
年崎瀬戸遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/10/19	2020/10/20	住宅	試掘	6.3	
大糸跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/10/12	2020/10/16	ガス・電気・水道等	試掘	12.0	
穴久内野方	佐世保市	佐世保市	2020/11/25	2020/12/1	ガス・電気・水道等	試掘	8.0	
中里遺跡(隣接地)	佐世保市	佐世保市	2020/7/14	2020/7/16	宅地造成	試掘	24.4	
千人塚(墳頂)遺跡	佐世保市	佐世保市	2021/2/15	2021/2/17	宅地造成	範囲	14.0	
佐世保市守府倉庫跡	佐世保市	佐世保市	2020/12/25	2020/12/25	その他開発(史跡整備)	範囲	6.3	
島原城跡	島原市	島原市	2020/4/15	2020/4/16	個人住宅	範囲	3.8	
大原原跡	島原市	島原市	2020/6/2	2020/6/8	その他開発(浄化槽の埋設)	範囲	6.5	
島原城跡	島原市	島原市	2020/6/12	2020/6/19	住宅	範囲	6.6	
島原城跡	島原市	島原市	2020/6/22	2020/6/23	その他建物(撮影台)	範囲	3.9	
島原城跡	島原市	島原市	2020/12/9	2020/12/11	個人住宅	範囲	3.0	
小原下遺跡	島原市	島原市	2021/2/1	2021/2/17	その他開発(疎地)	範囲	4.0	
小原下遺跡	島原市	島原市	2021/2/12	2021/2/26	工場	範囲	36.0	
上・野原遺跡	島原市	島原市	2020/11/12	2020/11/13	その他開発(土塁調査)	範囲	4.0	
碑田原跡	島原市	島原市	2021/3/15	2021/3/15	個人住宅	範囲	4.0	
寺中寺遺跡	島原市	島原市	2020/4/16	2020/4/16	その他建物	範囲	4.0	
寺中寺跡	島原市	島原市	2020/6/12	2020/6/12	貴重な植物多様性(遺跡等含む)	範囲	13.6	
篠石原跡	島原市	島原市	2020/6/16	2020/6/20	その他開発(太陽光発電)	範囲	18.9	
諫早農業高校跡(隣接地)	諫早市	諫早市	2020/4/10	2020/5/8	その他建物(集合住宅)	試掘	6.0	
小野寺跡(隣接地)	諫早市	諫早市	2020/7/10	2020/8/21	店舗	範囲	12.0	
真崎城跡	諫早市	諫早市	2020/7/30	2020/8/11	個人住宅	範囲	7.5	
小柴八点丘遺跡	諫早市	諫早市	2020/11/10	2020/12/18	宅地造成	範囲	30.0	
井崎植生跡	諫早市	諫早市	2021/2/8	2021/3/15	その他農業関係事業(農業等含む)	範囲	7.0	
諫崎遺跡	諫早市	諫早市	2021/3/8	2021/3/11	その他農業関係事業(農業等含む)	範囲	8.0	
富の原跡	大村市	大村市	2020/4/2	2020/4/2	その他開発(屋外自立看板)	範囲	4.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2020/4/14	2020/4/20	その他開発(駐車場・広場)	範囲	100.5	
竹松遺跡	大村市	大村市	2020/4/8	2020/5/15	その他開発(駐車場・駐輪場)	範囲	86.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/4/27	2020/5/27	宅地造成	範囲	186.0	
坂口・内高野遺跡	大村市	大村市	2020/5/22	2020/5/26	宅地造成	範囲	50.0	
荀取遺跡(隣接地)	大村市	大村市	2020/4/13	2020/6/2	宅地造成	試掘	66.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/6/9	2020/6/10	店舗	範囲	7.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/6/9	2020/6/10	宅地造成	範囲	79.5	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/6/16	2020/6/17	宅地造成	範囲	138.0	
平野遺跡	大村市	大村市	2020/6/22	2020/6/24	宅地造成	範囲	97.5	
坂口・内高野遺跡	大村市	大村市	2020/7/14	2020/7/15	住宅	範囲	24.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2020/7/29	2020/7/31	個人住宅	範囲	10.0	
竹松遺跡	大村市	大村市	2020/7/29	2020/7/31	宅地造成	範囲	30.0	
三城城下跡	大村市	大村市	2020/9/10	2020/10/16	宅地造成	範囲	81.2	
岩名遺跡	大村市	大村市	2020/10/7	2020/10/28	宅地造成	範囲	50.0	

## 令和2年度 長崎県における発掘調査の履歴（2）

遺跡名	遺跡所在地	調査主体	調査開始日	調査終了日	調査原因	調査種別	実査面積 (m²)	備考
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/10/26	2020/10/30	宅地造成	範囲	150.0	
川端遺跡	大村市	大村市	2020/11/16	2020/11/26	宅地造成	範囲	27.0	
三城跡	大村市	大村市	2020/11/12	2020/11/13	個人住宅	試掘	11.0	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/12/15	2020/12/24	店舗	範囲	30.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2020/12/9	2020/12/9	工場	範囲	31.2	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2020/12/9	2020/12/24	宅地造成	範囲	120.0	
三城坂下跡	大村市	大村市	2021/1/7	2021/1/13	個人住宅・その他の開発(駐車住宅)	範囲	17.6	
黒丸遺跡	大村市	大村市	2021/1/21	2021/2/5	宅地造成	範囲	94.0	
古占遺跡	大村市	大村市	2021/2/15	2021/2/25	宅地造成	範囲	52.5	
多々良丘遺跡(隣接地)	大村市	大村市	2021/3/9	2021/3/9	個人住宅	試掘	6.0	
富の原遺跡	大村市	大村市	2021/3/3	2021/3/5	その他の開発(駐車場造成)	範囲	24.0	
西神寺跡(隣接地)	平戸市	平戸市	2021/8/12	2021/8/12	その他の建物(便所施設)	範囲	40.0	
大野遺跡	平戸市	平戸市	2020/10/9	2020/11/20	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	72.0	
粉ノ木遺跡	松浦市	松浦市	2020/5/11	2020/5/19	その他の開発(駐車場造成)	範囲	6.8	
久保園遺跡	松浦市	松浦市	2020/10/26	2020/11/4	個人住宅	範囲	6.3	
越島遺跡	対馬市	対馬市	2020/6/29	2020/8/7	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	2.7	
対馬港お船江跡	対馬市	対馬市			保存目的の範囲内容確認調査	範囲	-	
高島遺跡	対馬市	対馬市	2020/9/28	2020/10/7	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	4.8	
龜丘城跡	壱岐市	壱岐市	2020/6/22	2020/8/5	自然崩壊	範囲	51.0	
熊の辻遺跡	壱岐市	壱岐市	2020/7/1	2020/9/30	道路	範囲	45.0	
山中遺跡	壱岐市	壱岐市	2020/11/11	2021/2/9	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	49.0	
正芥城跡(隣接地)	壱岐市	壱岐市	2020/11/6	2020/11/6	その他の開発(駐車場設置)	試掘	4.0	
龜丘城跡	壱岐市	壱岐市	2020/9/23	2020/11/10	保存目的の範囲内容確認調査	範囲	37.0	
宇多尾遺跡	五島市	五島市	2020/7/31	2020/8/2	その他(土器・瓦器等の収集行方)	範囲	4.0	
黒山窯跡	五島市	大学	2021/9/13	2021/9/18	学術調査	範囲	20.0	
出原遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/4/6	2020/4/14	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	22.0	
城ノ屋原遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/5/11	2020/5/15	その他の建物	範囲	12.0	
真正寺条里跡	雲仙市	雲仙市	2020/6/29	2020/7/2	個人住宅	範囲	2.0	
火箱遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/7/21	2020/11/30	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	274.0	
西湖遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/8/6	2020/11/20	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	2100.0	
中野原遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/4/28	2020/8/3	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	1000.0	
福鬼兔塚古墳	雲仙市	雲仙市	2020/7/13	2020/8/5	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	10.0	
真正寺条里跡	雲仙市	雲仙市	2020/10/1	2020/10/2	個人住宅	範囲	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2020/9/26	2020/10/1	道路	範囲	3.0	
東嶽古墳	雲仙市	雲仙市	2020/10/7	2020/10/8	道路	範囲	2.0	
山田条里跡	雲仙市	雲仙市	2020/10/23	2020/10/23	その他の建物	範囲	5.1	
真正寺条里跡	雲仙市	雲仙市	2020/11/18	2020/11/19	個人住宅	範囲	4.0	
上林原遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/12/21	2020/12/22	個人住宅	範囲	2.0	
山崩遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/1/18	2021/1/20	個人住宅	範囲	2.0	
伊古遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/1/23	2021/2/25	その他の開発	範囲	8.0	
長坂古墳	雲仙市	雲仙市	2021/3/5	2021/3/5	道路	範囲	2.0	
長坂古墳	雲仙市	雲仙市	2021/3/5	2021/3/5	その他の建物(駐車場)	範囲	2.0	
赤原遺跡	雲仙市	雲仙市	2020/12/4	2021/2/26	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	1350.0	
豊登跡	雲仙市	雲仙市	2020/12/2	2021/2/19	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	438.0	
鶴丸城(神代城)跡(隣接地)	雲仙市	雲仙市	2021/3/9	2021/3/25	その他の建物	範囲	29.8	
肥前川遺跡	雲仙市	雲仙市	2021/3/11	2021/3/24	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	28.0	
原原遺跡	南島原市	南島原市	2020/6/8	2020/6/15	その他(土器・瓦器等の収集行方)	試掘・範囲	12.0	
嘉府本陣跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2020/6/24	2020/7/8	その他の開発(駐車場)	試掘	4.0	
嘉府本陣跡(隣接地)	南島原市	南島原市	2020/6/22	2020/7/20	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	試掘	16.0	
木通新野遺跡	南島原市	南島原市	2020/5/26	2020/5/29	その他の西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	16.0	
史跡	南島原市	南島原市	2020/3/9	2020/7/22	その他の建物(ガイドレス施設建設設計)	試掘	209.0	
東大森遺跡	南島原市	南島原市	2020/7/21	2020/7/30	道路	範囲	12.0	
永瀬貝塚	南島原市	南島原市	2020/10/9	2020/10/10	道路	範囲	8.0	
更新原遺跡	南島原市	南島原市	2020/10/19	2020/10/23	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	4.0	
上石田原遺跡	南島原市	南島原市	2020/8/17	2020/10/15	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	試掘	120.0	
新切口遺跡	南島原市	南島原市	2020/8/17	2020/10/15	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	試掘	120.0	
更新原遺跡	南島原市	南島原市	2020/12/18	2021/1/29	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	17.0	
寅台寺跡	南島原市	南島原市	2020/12/7	2021/3/19	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	本調査	1162.0	
伊ノ瀬古跡	西海市	西海市	2020/6/10	2020/6/12	個人住宅	範囲	4.0	
酒水遺跡(隣接地)	西海市	西海市	2020/7/27	2020/8/7	その他の建物(駐車場)	試掘	15.0	
土時の遺跡	西海市	西海市	2020/10/5	2020/10/12	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	21.0	
横糞跡	西海市	大学	2020/9/13	2020/9/14	学術調査	試掘	4.0	
横糞跡	西海市	大学	2020/10/18	2020/11/15	学術調査	試掘	4.0	
下茅屋遺跡(隣接地)	西海市	西海市	2020/12/7	2020/12/8	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	試掘	8.0	
元住遺跡	西海市	西海市	2020/11/24	2020/12/10	西乳長曾母塚(遺道等を含む)	範囲	67.0	

## 令和2年度 県及び市町教委発行の埋蔵文化財発掘調査報告書等一覧

編集機関	報告書名	収録道跡	シリーズ名	集数
長崎県 埋蔵文化財センター	長崎県埋蔵文化財調査年報Ⅱ	早岐・瀬戸内道跡、北光寺前道跡、中島道跡、長崎西役所跡、佐中道跡、原口日道跡、下原在原日道跡、吉久ノ久保道跡、丸尾道跡、正興寺跡、米永道跡、太田道跡、平賀道跡	長崎県埋蔵文化財わたり 調査報告書	36
	原の辻道跡	原の辻道跡		37
	中島道跡	中島道跡		38
	堀中道跡	堀中道跡		39
長崎市教育委員会	小曾根船道跡	小曾根船道跡	長崎市文化財調査報告書	-
	魚の町道跡(地質及び自然科学研究編)	魚の町道跡		-
佐世保市教育委員会	佐世保市埋蔵文化財調査報告書	大吉川岩陰遺跡	佐世保市文化財調査報告書	18
	史跡塔ノ原庭園整備報告書	福井廻廊		19
	重要文化財黒島天主堂修復対策・保存修理工事報告書	黒島天主堂		-
島原市教育委員会	長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画	島原城		-
諫早市教育委員会	諫早市内文化財調査年報Ⅲ	大森古墳、秋森橋石塚、大渡野魯所跡、シフの墓、ピッテの墓、金谷遺跡の魔部灯籠、新道町の鐘形灯籠、唐比堵／本道跡	諫早市文化財調査報告書	27
大村市教育委員会	大村市市内道跡発掘調査概報10	黒丸道跡、竹松道跡、大野道跡	大村市文化財調査報告書	45
平戸市教育委員会	市内道跡確認調査報告書 XX	西津守跡、佐藤屋跡地、大野道跡	平戸市の文化財	76
松浦市教育委員会	松浦市市内道跡確認調査(6)	大瀬道跡、青島道跡、赤ノ尾A道跡、鷹島南面道跡、船ノ木道跡、中野道跡、久保園道跡	松浦市文化財調査報告書	11
对馬市教育委員会	想曾古墳群	想曾古墳群	对馬市文化財調査報告書	11
	史跡金石城跡及び名勝旧金石城莊園保存活用計画	金石城跡		-
壱岐市教育委員会	小瀬道跡 原の辻道跡	小瀬道跡、原の辻道跡	壱岐市文化財調査報告書	31
	山中道跡 魁丘城三ノ丸跡 国定跡本城本丸跡1次 正村道跡接続地	山中道跡、魁丘城跡、勝本城跡、正村道跡		32
	堆積物道跡	堆積物道跡		21
南島原市教育委員会	内野貝塚(第1分冊)	内野貝塚	南島原市文化財調査報告書	23
	野中道跡	野中道跡		24
	野中道跡	野中道跡		25
	右原道跡	右原道跡		26
	出口道跡	出口道跡		27

## II. 本県が主催する文化財保護に関する研修事業

### 1. 長崎県文化財保護行政主管課長会議・担当者会議

**目 的** 県及び市町文化財保護行政主管課長及び担当者に対し、文化財保護及び活用に関する新たな情報や専門的知識を習得する場を提供するとともに、改正文化財保護法に基づいて策定中の長崎県文化財保存活用大綱や文化財保存活用地域計画作成に関する新たな情報を提供し、今後の県や市町の取組についての情報共有を行い、円滑な推進を図る。

**期 日** 令和2年10月1日(木)

**会 場** 長崎県農協会館7階701・702会議室

**参加者** 各市町文化財保護主管課長及び担当者

県関係各課長および担当者 計43名

**内 容** (1)開会

(2)報告・説明等

- ・文化財関係補助制度について
- ・史跡名勝天然記念物の現状変更について
- ・埋蔵文化財の管理業務について
- ・美術工芸品の管理と公開について
- ・長崎県文化財保存活用大綱について

(3) 質疑応答

(4) 閉会

## 2. 開発部局・文化財保護部局担当者文化財基礎研修

**目 的** (1) 開発部局担当者に文化財に対する理解を深めてもらい、その取り扱いについて具体的な情報を提供することにより、円滑な文化財行政を推進する。

(2) 文化財主管課担当者に基礎的な知識を習得する場を提供し、文化財の保護に関する基本的な考え方や事務手続きなどの理解を深めさせ資質の向上を図る。

**期 日** 令和2年6月4日(木) 資料送付

※新型コロナウィルス感染症の影響により研修会は開催せず、研修資料の送付のみとした。

**送付先** • 国県及び市町開発部局担当者 計 28 部署及び 21 市町

• 市町文化財担当者（実務経験3年未満を主体） 計 21 市町 24 部署

**内 容** 〔研修Ⅰ〕 開発部局・文化財保護部局担当者を対象

・埋蔵文化財保護行政と埋蔵文化財包蔵地における開発に係る諸届について

〔研修Ⅱ〕 文化財保護部局担当者を対象

・長崎県の文化財保護情勢

・文化財保護法の改正と文化財大綱・地域計画について

・指定・選定文化財の事務手続きについて

・埋蔵文化財の保護と事務手続きについて

・文化財補助金の適正な執行について

## 3. 埋蔵文化財担当者専門技術研修

新型コロナウィルス感染症の影響により令和2年度は中止した。

### III. 長崎県埋蔵文化財センターの事業

#### 1. 調査研究事業

長崎県埋蔵文化財センターでは、原の辻遺跡調査研究事業として遺跡内の環濠や旧地形等の状況調査を目的に平成14年度から国庫補助を受けながら内容確認調査を実施している。調査は10年ごとに調査計画を立てて行っているものであり、現在行っている調査計画は、遺跡の北東側から南東側にかけての遺跡の広がりや遺構の状況を確認するために平成24年度からの10年計画を作成し実施しているものである。

令和2年度は、原の辻遺跡北側の閑縁地区において発掘調査を実施した。閑縁地区は、原の辻丘陵の北側、安国寺が所在する高台の南側の緩傾斜地に位置する。二つの高台に挟まれた谷頭から南東にやや下った丘陵沿いでは、東亜考古学会と原の辻遺跡調査事務所により、弥生時代中期を中心とした甕棺墓と石棺墓の列状配置が2地点で確認されているが、令和2年度の調査地は、谷頭を南西にやや下った場所である。

調査地周辺での既往の調査成果を受けて、100m<sup>2</sup>の調査区を3箇所（1区～3区）に設定し、合計300m<sup>2</sup>の調査を行った。この結果、幡鉾川の支流を確認し、その弥生時代から奈良時代にかけて埋没する過程を復元する手がかりを得た。また、周辺の調査によって想定された古代の道が、推定位置から5m程度西側にずれて確認され、古墳時代に弥生時代から古墳時代にかけて埋没したと考えられる沼状の地形も確認された。さらには、弥生時代中期中葉を中心とする住居址が複数棟切り合う状況が確認され、原の辻遺跡集落の変遷を把握するための有効な情報を得ることができた。このほか、弥生時代中期を中心とした弥生土器や三韓系土器、さらには層灰岩製片刃石斧やその制作に伴う剥片が大量に見つかることなど、豊富な遺物が検出された。

#### 2. 保存処理事業

県保有資料の木製品48点、金属製品190点、の計238点に関して国庫補助事業を活用して保存処理を行った（表1）。本製品はPEG（ポリ・エチレン・グリコール）含浸処理法、トレハロース含浸処理法、真空凍結乾燥法により保存処理を実施した。金属製品は主に鉄製品と銅製品に大別されるが、いずれも透過X線撮影等事前調査を実施したのち、錆取り作業⇒脱塩処理（銅製品はBTA（ベンゾ・トリ・アゾール）処理）⇒アクリル樹脂含浸強化処理⇒接合・修復を実施した。



百田頭古墳出土「轡」の処理例（左：処理前、中：透過X線画像、右：処理後）

表1 令和2年度国庫補助事業による保存処理一覧

◆木製品：48点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
原の辻遺跡	壱岐市	201207	24	PEG含浸処理 又は 糊+水含浸処理 又は	長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第9集
		201310	9	真空凍結乾燥処理 ⇒アクリル樹脂塗布	長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第12集
		201804	9		長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第35集
早岐瀬戸遺跡	佐世保市	201901	2	糊+水含浸処理	R1範囲確認調査①
		201914	4		R1範囲確認調査②

◆金属製品：190点

遺跡名	所在地	調査番号	処理点数	処理方法	備考
原の辻遺跡	壱岐市	201207	29	透過X線撮影 ↓ 鋳取り・クリーニング ↓ 脱塙・BTa処理 ↓ 接合 ↓	長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第9集
		201804	2		長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第35集
畠中遺跡	島原市	201907	134	樹脂含浸強化	長崎県埋蔵文化財セレクション 調査報告書第39集
		201914	24		R1範囲確認調査②
長崎奉行所跡	長崎市	NK183	1		長崎県文化財調査報告書 第183集

総計：238点

また県内市町が保有する資料に関しても所定の申請を行えば保存処理施設の利用を許可しており、令和2年度は5市からの利用があり計642点の保存処理を行った（表2）。土器は水で希釈できるエマルジョン系アクリル樹脂を含浸し強化した。

表2 令和2年度 県内市町保存処理点数一覧

市町名	利用機関	遺跡名	種別	点数
長崎市	文化財課 出島復元整備室	魚の町遺跡、銅座町遺跡、興善町遺跡、旧英國領事館、出島和蘭商館跡	木製品	36
				19
佐世保市	佐世保市文化財課	早岐瀬戸遺跡、黒島天主堂	木製品	13
			金属製品	8
壱岐市	壱岐市社会教育課	原の辻遺跡、カラカミ遺跡、国柳遺跡、石路遺跡、百田頭古墳群、串山ミルメ浦遺跡、鬼丘城跡、正村遺跡	木製品	1
			金属製品	131
			土器	2
			動物遺体	1
雲仙市	雲仙市教育委員会	火箱遺跡、西頭遺跡	木製品	1
			土器	292
			動物遺体	111
南島原市	南島原市教育委員会	浦田遺跡	木製品	23
			植物遺体	4

総計642点

出土遺物の保存処理に伴う事前調査機器（精密分析機器）も保有し、金属製品の材質分析や構造調査等も行っている。外部利用も受け入れており、令和2年度は7機関が、蛍光X線分析装置、真空凍結乾燥機、走査型電子顕微鏡などを利用した（表3）。また、令和2年7月に熊本県を中心に発生した集中豪雨によって被災した資料を受け入れ、約500点におよぶ古文書や巻物などを真空凍結乾燥機で処理した。



真空凍結乾燥機内の古文書類

表3 令和2年度精密分析機器外部利用一覧

利用時期	利用者	利用内容	使用機器
2020年4月	対馬市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年6月	西海市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年7月	雲仙市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年8月	長崎県立上対馬高校	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年12月	熊本県芦北町	被災史料の真空凍結乾燥	真空凍結乾燥機
2020年12月	雲仙市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年12月	佐世保市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2020年12月	佐世保市教育委員会	ロザリオの成分分析	微小部蛍光X線分析装置
2020年12月	佐世保市教育委員会	銅鏡の3Dレプリカ作成	3Dプリンター
2020年12月	西海市教育委員会	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置
2021年3月	長崎県立上対馬高校	黒曜石の産地推定	蛍光X線分析装置

### 3. 教育普及事業

#### (1) オープン収蔵展示

調査研究の成果を紹介するため、併設する長崎市立一支国博物館のオープン収蔵庫（高さ5mのガラス張りで、キッズこうごく研究所および博物館2階より内部を見ることができる収蔵庫）を活用して、遺物の展示を行っている。令和2年度は以下の3つのテーマで遺物展示を行った。

第1回目『長崎の近世×現代 -出土品にみるくらしの今昔-』では、江戸時代の出土品を中心に現代のくらしの道具と比較し、近世長崎の豊かな生活文化の様子を紹介した。

第2回目『長崎の城と館 -戦国の世から泰平の世へ-』では、県が調査した近世の城跡や館跡を、城内の生活をうかがわせる道具や異国との交流拠点となってきた長崎の歴史ならではの出土品と共に紹介した。

第3回目『Life in Jomon - 繩文時代の長崎 -』では、保存処理を経て展示可能となった木製品など県内の遺跡から出土した縄文時代の道具を通して、縄文時代の精神性や暮らししぶりを紹介した。



『長崎の近世×現代 -出土品にみるくらしの今昔-』



『長崎の城と館 -戦国の世から泰平の世へ-』

## 令和2年度 オープン収蔵展示

テーマ	主な展示品	期間
長崎の近世×現代 -出土品にみるくらしの今昔-	瑠璃釉鳥形合子(栄町遺跡)、色絵磁器(三川内燒・万才町遺跡ほか)、龜山焼(染付平茶碗:万才町遺跡ほか)、下駄(長崎奉行所跡)、朱泥急須(万才町遺跡)、ガラス製の簪(岩原目付屋敷跡ほか)、化粧道具(紅皿:栄町遺跡ほか)、整髪道具(油壺:万才町遺跡)、文房具(筆箱:万才町遺跡)など	令和2年7月3日(金) ～ 令和2年10月18日(日)
長崎の城と館 -戦国の世から泰平の世へ-	玖島城跡(華南三彩、長与三彩、マヨリカ陶器、紋瓦)、沖城跡(国産陶器)、諫早家御屋敷跡(施釉瓦)、石田城跡(紋瓦、現川焼)、長崎奉行所跡(小柄、レーマー杯)など	令和2年10月23日(金) ～ 令和3年2月21日(日)
Life in Jomon -縄文時代の長崎-	土偶(西常盤遺跡:諫早市)、阿高式土器(千里ヶ浜遺跡:平戸市)、鏡ヶ崎式系土器(白浜貝塚:五島市)、貝製品、木器(中島遺跡:五島市)、黒色磨研土器(黒丸遺跡:大村市)など	令和3年2月26日(金) ～ 令和3年6月27日(日)

## (2) 情報誌

情報誌『長崎県の埋蔵文化財－お城編一』をA4サイズのフルカラー全8ページで発刊した。センターが出土品を収蔵する近世の城跡を中心に「長崎の城」について解説した記事を掲載しており、図書館や教育機関、一支国博物館及び埋蔵文化財センターへの訪問者などに配布し、ホームページにも掲載している。また、情報誌『南北市報』第15号をHPで配信した。この情報誌では、前年度（令和元年度）のセンター情報をわかりやすくまとめた記事を掲載している。



情報誌

## (3) ホームページおよびFacebookの公開更新

ホームページ (<http://www.nagasaki-maibun.jp/>) には『施設案内』のほか、近年の発掘調査状況を掲載している『センター発掘情報』、オープン収蔵展示や教育支援事業などを紹介する『インフォメーション』、刊行物を紹介する『出版物情報』、バックヤードツアーなどイベントを紹介する『イベント情報』、収蔵している出土品や精密分析機器の『施設利用』に関する申請書などを掲載している。また平成26年から開設しているFacebookページ (<https://fb.com/1461241530809034>) では、多くの写真を用いて親しみやすい情報の発信に取り組んでいる。

## (4) Dr. ハルのバックヤードツアー（動画）



新型コロナウイルス感染症の影響により中止することになった定例のバックヤードツアー（毎月第3土曜日）の代替としてバックヤードの様子を紹介する動画を製作し公開した。

センターで実施している保存処理、精密分析業務をはじめ、整理作業の様子などの動画計8本を公開している。動画は、長崎県インターネット放送局「よかよかテレビ（よかテレ）」や動画投稿サイトYoutubeから閲覧できるほか、現地説明会等でも公開している。

## (5) 体験学習

『精密分析機器で調べてみよう』と題し、主に小学生を対象とした体験学習を夏休み期間中に開催している。子どもたちに分かりやすく、また興味を示すようなアイデアを盛り込み、各機器の特性を活かした工夫をこらしている。身近なものを、精密機器を用いて観察、分析することで得られる情報から、センターの仕事内容や成果の普及活動に努めている。令和2年度は8回の開催で計79名の参加があった。



レントゲン撮影装置で箱の中身を当てよう！



三次元計測器で身近なものを計測してみよう！

## (6) パックヤードツアー

埋蔵文化財センターに併設されている一社国博物館のイベントとして、毎月第3土曜日にパックヤードツアーを実施している。普段立ち入ることができないセンターの保存処理施設や出土品収蔵庫等を見学するツアーで、主にセンター職員が対応している。令和2年度は9回の開催で、計104名の参加があった。



ツアー導入部「遺跡とは？」の説明



金属製品保存処理室の案内

## (7) 資料貸出・閲覧・掲載許可

收藏している出土品等の貸出や資料閲覧、写真等掲載に関して、所定の申請を受け、使用目的等適切であれば許可している。令和2年度は出土品の資料貸出4件(杉並区立郷土博物館、九州国立博物館、長崎歴史文化博物館、諫早市美術・歴史館)、資料閲覧4件、写真掲載許可申請9件、その他レプリカ資料の貸出2件に関して対応した。

### (8) 長崎県立壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」支援

本センターでは、高校生の離島留学制度で設定された長崎県立壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コースの授業支援を行っている。支援は1年生のコース生全員と、2年生の歴史学専攻生の授業の一部を担当しており、埋蔵文化財の公的な専門機関が年間を通して高校の授業を担当する例は全国でも稀である。

令和2年度は、1年生の「歴史学入門」を10回、2年生の「考古学入門・生活文化史」を35回実施し、特に2年生に対しては奈良大学と奈良県が主催している「全国高校生歴史フォーラム」に研究論文を応募するための支援を中心に行った。研究支援は、1年次に考古学の基礎知識の講義を先行して行い、2年次の9月まで通常の授業時間および放課後の時間帯に論文作成ための指導を行った。その結果、「定光寺前遺跡出土の貿易陶磁器からみた中世壱岐の研究」を研究論文として提出し、2位にあたる奈良県知事賞を受賞した。また、今後の研究論文作成につなげるために、7月の3日間、1年生全員と2年生の歴史専攻生とで古代から中世にかけての遺物包含地である定光寺前遺跡の発掘調査をセンターの職員とともに実施した。



島内巡検の様子



授業風景



発掘調査の様子



奈良大学「全国高校生歴史フォーラム」知事賞受賞

## 学校設定科目的授業に関するここと

月	日	曜	歴史学入門(1年)		考古学入門・生活文化史(2年)		課題研究(3年)	
			授業名	担当者	授業名	担当者	授業名	担当者
5	13	木	博物館センター見学(見学)	片野・白石・山梨	考古学研究1	白石・山梨	考古学研究(1)	白石・山梨
20	木	モミジの史跡(巡査)①	白石・山梨	モミジの史跡(巡査)①	白石・山梨	モミジの史跡(巡査)①	白石・山梨	
27	木				考古学研究2	白石・山梨		
6	3	水			考古学研究3	白石・山梨		
10	木				考古学研究4	白石・山梨		
17	木	モミジの史跡(巡査)②	白石・山梨	モミジの史跡(巡査)②	白石・山梨	モミジの史跡(巡査)②	白石・山梨	
24	木				考古学研究5	白石・山梨		
7	8	水	事前指導	白石・山梨	事前指導	白石・山梨		
15	水				考古学研究6	白石・山梨		
22	水				考古学研究7	白石・山梨		
30	水		免振講習	白石・山梨	免振講習	白石・山梨		
8	19	木			考古学研究8	白石・山梨		
26	木				考古学研究9	白石・山梨		
9	16	木	考古学研究	山梨				
23	木				コース支援	白石		
10	7	木			市民大フォーラム免査練習	山梨		
21	木				コース支援	白石		
28	木				コース支援	白石・山梨		
11	16	木	原の辻遺跡免査体験	白石・山梨	原の辻遺跡免査体験	白石・山梨		
25	木		原の辻遺跡免査体験	白石・山梨	原の辻遺跡免査体験	白石・山梨		
1	20	木	考古学研究	白石・山梨				
27	木		考古学研究	白石・山梨				
3	3	木	コース支援	白石				
17	木		コース支援	白石・山梨				

## 体験入学等に関するここと

月	日	曜	行事名	担当	行事内容
4	16	月	センター・モミジ高連絡協議会	室長、担当	自己紹介、新年度のコース運営等の協議・調整
8	22	土	第1回コース体験入学	担当	コース授業の概要説明、一支園博物館・理文センター案内
11	7	土	第2回コース体験入学	担当	コース授業の概要説明、一支園博物館・理文センター案内
2	26	金	コース3年生表敬訪問	室長、担当	所長・授業に携わった職員との懇談会
3	5	金	センター・モミジ高担当打ち合わせ	室長、担当	連絡協議会前の事前打ち合わせ

## (9) 学校教育支援「埋文MAIBUN学びのサポート」

本センターは、「埋文MAIBUN学びのサポート」という学校教育支援を行っている。これは、センター職員の高い専門性や、石器・土器など実際の遺物、さまざまな機器を活用したセンターでの学習等を通して、考古学への児童生徒の興味・関心を高めるほか、幅広い知識や技能の習得をサポートすることを目的として実施している。令和2年度は5件で、197人の利用があった。

日付	学校名	内容	人数
8月22日	モミジ高校コース体験入学	博物館およびバックヤードの見学	21
8月27日	郷ノ瀬中学校	精密分析機器を用いた学び	3
8月29日	沼津小学校	バックヤードの見学	11
10月15日	郷ノ瀬中学校	バックヤードの見学	109
10月16日	石田中学校	バックヤードの見学	53

## (10) 現地説明会

## ①長崎西役所跡

内容確認調査期間中の9月12日（土）に現地説明会を開催した。前夜からの大雨で開催が危ぶまれたが、当日は約480名の見学者が来場した。学芸文化課職員の調査概要説明に対し、見学者は熱心に耳を傾け質問する姿もあった。また展示コーナーでは、盛土の中から出土した近現代の陶磁器・瓦片・ガラス製品などのほか、花十字文瓦片を公開した。また、発掘調査の状況について学芸文化課ホームページや長崎県インターネット放送局「よかよかテレビ（よかテレ）」で説明や動画を公開した。



長崎西役所跡現地説明会

## ②早岐瀬戸遺跡

11月1日（日）に現地説明会を開催した。当日は朝から多くの見学者が訪れ、合計200名を数えた。近世から近代にかけての埋め立てに伴う石垣2列や近世の陶磁器及び窯道具、漆を塗った桶などを公開・展示し解説を行った。このほか11月6日（金）に早岐小学校3年生110名を対象とした見学会を行った。



早岐瀬戸遺跡現地説明会

## ③原の辻遺跡

12月5日（土）に閑緑地区の調査において現地説明会を開催した。快晴の下、島内を中心に県内外から44名の見学者が来場した。参加者を2班に分け、3調査区ごとに遺構の検出状況や遺物出土状況を説明した。弥生時代の河川跡や古代の道路跡と考えられる遺構が検出されており、興味深そうに調査区を覗き込む様子が見受けられた。



原の辻遺跡現地説明会

## 4. 東アジア考古学研究事業

### (1) 東アジア国際シンポジウムの開催

東アジア考古学研究室は、本県が古代から東アジア交流の要衝として独特の文化を育んできた歴史的経緯を踏まえ、東アジア的視点に立った考古学研究を推進しその成果を発表している。令和2年度は、「土を盛り、石を築く—土木・建築技術にみる東アジア交流—」をテーマとしてシンポジウムを開催した。

- 主 催 長崎県埋蔵文化財センター
- 共 催 長崎歴史文化博物館、壱岐市立一支国博物館
- 後 援 長崎市教育委員会、壱岐市教育委員会、魏志倭人伝のクニグニネットワーク参加自治体、教育委員会、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、壱岐新聞社、(株)壱岐新報社、NHK長崎放送局、KTNテレビ長崎、NBT長崎放送、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、光ネットワーク(株)

#### <長崎会場>

○日 時 令和2年10月4日(日) 13:00 ~ 16:30

○場 所 長崎歴史文化博物館ホール

○参加者 70名

※長崎歴史文化博物館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、会場最大収容人数の半数(70名)を定員として実施。

○内 容 基調講演 「土木技術の源流を訪ねて」

大阪府立狭山池博物館長 工楽 善通

講演1 「東アジアにおける原の辻遺跡船着場突堤の土木技術」

奈良大学文学部教授 小山田 宏一

講演2 「原の辻遺跡の船着き場跡」

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室

主任文化財保護主事 白石 溪洋

パネルディスカッション (パネラー: 工楽 善通、小山田 宏一、白石 溪洋)

#### <関連講座>

○日 時 令和2年10月11日(日) 14:00 ~ 15:30

○場 所 壱岐市立一支国博物館 3階多目的ホール

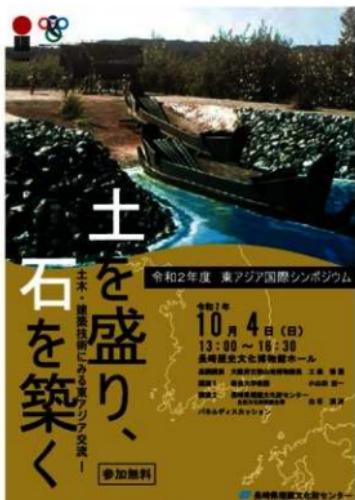
○参加者 90名

※一支国博物館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、会場最大収容人数の半数(90名)を定員として実施。

○内 容 講演 「原の辻遺跡の船着き場跡」

長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室

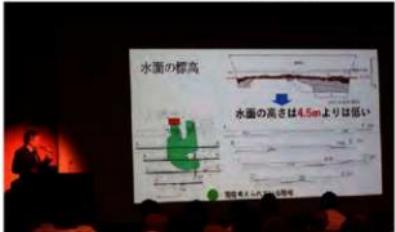
主任文化財保護主事 白石 溪洋



シンポジウムチラシ



パネルディスカッション（長崎会場）



講演（関連講座）

## （2）東アジア諸国との連携

平成27年5月に長崎県埋蔵文化財センターは韓国・釜山博物館と友好交流機関協定を締結し、相互に職員を派遣し、発掘調査に参加したり、共同で資料調査を実施している。長崎県と釜山市では相互に関連のある資料が出土しているが、日韓の研究者双方の目で、同時に検討することで、交流の実態が明らかになってきた。また、中国東北地方（主に遼寧省・吉林省）を中心とした研究機関とも連携を深めている。

### ○新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による事業への影響

令和元年度には、本センター職員と釜山博物館職員の双方による現地視察、および東北師範大学の職員による壱岐訪問など、活発な交流が行われたが、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、職員の往来を伴う直接的な交流は不可能であった。しかしながら、釜山博物館とのメール等での継続的な情報交換、および中国の研究機関との連携を模索するため龍谷大学国際学部徐光輝教授（原の辻遺跡調査指導委員会委員）の訪問など、事業の発展を目指取り組みを継続した。

## （3）長崎県埋蔵文化財センター研究紀要第11号の刊行

本センターの研究紀要は、開所以来毎年刊行を重ねている。第11号では次の3本の論考を掲載した。

### 〔内容〕

岩佐 朋樹・清田 祥之・川路 阜太朗「デジタル技術を用いた壱岐島内古墳の再検討」

野澤 哲朗・新井 実和・江口 番裕「諫早眼鏡橋（国指定重要文化財）チキリ鉄・ダボ鉄について」

川内野 篤「旧佐世保海軍警備隊野母崎特設見張所跡現地調査概報」

## IV. 令和2年度長崎県教育委員会による埋蔵文化財発掘調査の概要

### 1. 長崎西役所跡【遺跡調査番号：202002・06・12】

所在 地	長崎市江戸町2番13号	調査担当	長崎県教育庁学芸文化課
調査原因	旧県庁跡地活用事業	報告書	令和3年度刊行予定
【調査番号：202002】調査面積	1,296 m <sup>2</sup>	調査期間	令和2年5月19日～令和2年10月30日
調査区分	範囲内容確認調査	処置	未定
【調査番号：202006】調査面積	500 m <sup>2</sup>	調査期間	令和2年7月1日～令和2年8月21日
調査区分	工事立会	処置	未定
【調査番号：202012】調査面積	1,215 m <sup>2</sup>	調査期間	令和2年11月5日～令和3年2月26日
調査区分	範囲内容確認調査	処置	未定

#### 立地と環境

遺跡の所在地は、金比羅山から南西方向に伸びる岬状の台地と低地部で形成される。岬状の台地は堆積段丘で、標高は11m～15mを測る。台地周辺に広がる低地部は主として近世以降に築出された中島川、浦上川及び海浜部の埋立地であり、本調査地周辺の標高は旧県庁舎本館が立地していた台地上で9m程度、中島川沿いの低地部で2m程度を測る。



調査位置図

#### 調査

令和元年度に行った範囲確認調査（調査番号：NNY201905）の結果を基に、南側（調査番号：NNY202002）と西側（NNY202012）に分けて行った。調査番号 NNY202006 は、西側の旧県庁舎本館基礎解体工事に伴う工事立会である。

南側では、調査区 A～C の3つに分けて調査を行った。調査区 A では、長さ約60m、高さ約6～7mの石垣を確認した。また、石垣の上場では近代の建物基礎構造等を、石垣の下場では近世から近代の生活面、近代の構、建物基礎構造等を確認した。調査区 B では、近世の生活面と石列を確認した。調査区 C では、台地上から低地部へ下るスロープ状の石垣2列を確認した。遺物は、近世から近代にかけての陶磁器、瓦、金属製品、ガラス製品、石造物、炭化物、貝類、骨片が出土している。

西側では、江戸町公園と旧県庁舎との敷地境に近い場所で石垣の裏込め石を確認したほか、近代のレンガ構造物、生活面、盛土、江戸時代の井戸を確認した。遺物は、近世から近代にかけての陶磁器、瓦、金属製品、ガラス製品、貝類、骨片が出土している。

【調査担当：濱村・前田】（文責：前田）

## 2. 根引池遺跡(隣接地)【遺跡調査番号: 202003・18】

所在地	長崎県佐世保市江迎町栗越 199 地先	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	一般国道 497 号松浦佐々道路建設	報告書	刊行なし
【調査番号: 202003】調査面積	36 m <sup>2</sup>	調査期間	令和2年5月25日～令和2年6月5日
調査区分	試掘調査	処置	再調査(試掘)
【調査番号: 202018】調査面積	62 m <sup>2</sup>	調査期間	令和3年2月2日～令和3年2月12日
調査区分	試掘調査	処置	調査後工事

### 立地と環境

佐世保市北部の江迎町に所在し北松玄武岩台地に立地する。佐世保市から平戸市にかけて広がるこの台地上には現在溜池となっている湧水地が多くあり、これら湧水地を中心に台地上には旧石器時代から縄文時代の遺跡が点在する。根引池周辺からも旧石器時代から縄文時代の石器が多く採集され遺跡として周知されていたが、平成11年に農道取り付け工事に伴う調査が池の西で行われ、旧石器時代の石器の良好な接合資料が出土し注目を集めることとなった。



遺跡位置図

### 調査

令和2年度の調査では土坑と思われる落ち込み1基と包含層から黒曜石1点と表土からではあるが黒色土器片が1点出土した。令和3年の調査では前年の調査で遺構や遺物が出た地点の周辺に加え用地買収が終わった地点に調査坑を設定したが、包含層からの遺物出土は黒曜石片が1点のみであった。また、黒色土器が出土した地点に隣接して設定した試掘坑からは石鍋片が出土したが、旧表土からの出土であった。



調査風景 (202003)

### まとめ

包含層からの遺物の出土はごく僅かであり、今回調査した地点は遺跡の中心から外れていると思われる。また、黒色土器や石鍋片など古代の遺物については表土からの出土であり遺構の有無については不明である。

【調査担当: 川畑】(文責: 川畑)

たかいわ やましろ  
3. 高岩の山城（隣接地）【遺跡調査番号：202004】

所在地 長崎県佐世保市江迎町乱橋 615-7 地先

調査原因 一般国道497号松浦佐々道路建設

調査期間 令和2年6月9日～令和2年6月19日

報告書 刊行なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査面積 16 m<sup>2</sup>

調査区分 試掘調査

処置 調査後工事

#### 立地と環境

佐世保市北部の江迎町に所在し、山田川と合流した江迎川が新生代第三紀砂岩層を浸食してきた切り立つ尾根上にある。調査地点は一般国道497号松浦佐々道路工事に係る踏査により、尾根上にある平場の存在が明らかになった場所である。調査地点に立つと木立の間から道路の合流地点が眼下に見え、人々の動きを監視する場所としては申し分のない所である。



遺跡位置図

#### 調査

上下に2箇所ある平場の主軸に沿って、上の平場に2箇所（「中央トレンチ」「東トレンチ」）、上の平場の斜面と下の平場の境に1箇所調査坑を設定し人力で掘削を行った。3箇所の調査坑はいずれも表土の下は基盤層である砂岩層の風化土であった。また、中央トレンチと南トレンチからは灰層を確認したが、精査の結果石炭層であることが分かった。



石炭層の堆積状況（石炭層が2層見える）

#### まとめ

江迎町を含む県北地域は第三期砂岩層の中に石炭層を含むことから、昭和30年代まで盛んに石炭の採掘が行われた。しかし、この地域の石炭層は薄く大規模な掘削は限られた場所のみで行われており、その多くは少人数での採掘であった。そのために、鉱脈が枯れたり掘削が困難になると新たに縦坑を掘り採炭することを繰り返した。調査地点の丘陵上にも多くの縦坑跡が見られる。

今回の調査では遺構、遺物ともに検出することなく、山城の可能性はない。

【調査担当：川畠】（文責：川畠）

## 4. 早岐瀬戸遺跡【遺跡調査番号：202005】

**所在地** 長崎県佐世保市早岐2丁目7他

**調査原因** 早岐川河川改修工事

**調査期間** 令和2年7月6日～令和3年1月21日

**報告書** 刊行予定（時期未定）

**調査担当** 長崎県埋蔵文化財センター

**調査面積** 1,570 m<sup>2</sup>

**調査区分** 本調査

**位置** 調査後工事（一部調査継続）

### 立地と環境

佐世保市南部の早岐地区に所在し、早岐瀬戸に面した沖積地に立地する。調査地点は早岐瀬戸が最も幅を狭める付近に位置し、周辺は宅地となっている。遺跡周辺は17世紀中頃に平戸藩による早岐瀬戸の埋め立てによって新しく造成された土地で、遺跡の中には平戸往還が通る。さらに、この地域は大村湾と外洋に開く佐世保湾とを結ぶ早岐瀬戸や、三川内・有田通り佐賀方面へ続く陸路が交差する交通の要衝で、港町・宿場町として栄えた。

調査区そばの海岸道路で例年春に開催される「早岐茶市」は、早岐周辺から農産物が、三川内方面からは陶磁器が、平戸・五島方面からは海産物が持ち込まれ売り買いの人で賑わう地域の年中行事となっている。

遺跡の北で東に大きく向きを変えて流れる早岐川は江戸時代の埋め立ての際に流路を東に向けられたと考えられている。この屈曲部分が原因でこれまで遺跡周辺は大雨の際たびたび水害に見舞われた。そこで、早岐川を直線的に海に通す工事が行われることとなった。工事は遺跡を北から南に横切ることから、工事に先立ち令和元年度から埋蔵文化財の発掘調査を行っている。



遺跡位置図



遺跡遠景(南から)

(奥は佐世保湾に手前は大村湾に続く)

### 調査

今年度は最も瀬戸寄りの地区の調査を行った。調査区は町割に従いA～C区に分け、遺構番号は通しで付与した。また包含層出土遺物は座標に合わせた5mグリッドごとの取り上げを行った。

遺構は江戸時代の町屋に伴うピット、土坑、カマド跡、溝、井戸、東南アジア向けの大振りの碗等ほぼ占められた遺物集中区などを検出した。溝や土地の区割りは現在の溝や区割りと重なる箇所が多く、当地においては土地利用の規制が長く残ることが分かった。また、町屋に伴う遺構は切り合いが見ら

れ検出面が複数面あった。この地区は江戸時代に三度の大火灾にあっている。調査では焼土層を複数検出したが、面的な広がりが見られず焼土層の年代を特定するまでは至らなかった。

今回の調査で注目するのは埋め立てに伴う石垣護岸を15基検出したことである。最も古い石垣護岸周辺からは量は少ないものの17世紀前半の遺物が見られ、最も新しい石垣護岸周辺からは19世紀前半の遺物が大量に出土した。石垣護岸は根石を残すだけのものが多く抜き取り痕を確認できたことから、埋め立て工事の際は既存の石垣護岸の石材を再利用していたものと思われる。また、根石がずれたり崩れている石垣護岸は出土遺物の年代から当時起きた大地震の影響をうかがわせ、今後周辺から出土した磁器を精査し時期を特定したい。

遺物は江戸時代の陶磁器を中心に出土した。中でも、17世紀後半以降の石垣護岸の裏込めや石垣護岸前面の堆積土（潟土）からは大量の陶磁器が出土した。陶磁器は平戸藩の三川内焼や大村藩の波佐見焼、佐賀藩の有田焼と、いわゆる肥前磁器と呼ばれる磁器が他藩のものも含め出土している。また、融着や焼きひずみのある製品や窯道具も多く出土している。石垣前面に堆積した潟土からは下駄・櫛などの木製品や獸骨・魚骨・種子などの食物残滓が多く出土した。

調査終了間際に埋め立て工事である混貝土層から人骨1体を検出した。頭骨下に木製の数珠が添えられていたことから埋葬骨ではあるが、埋土に上層の土が混ざっていないことから埋め立て造成の段階で埋葬されたものと思われる。

## まとめ

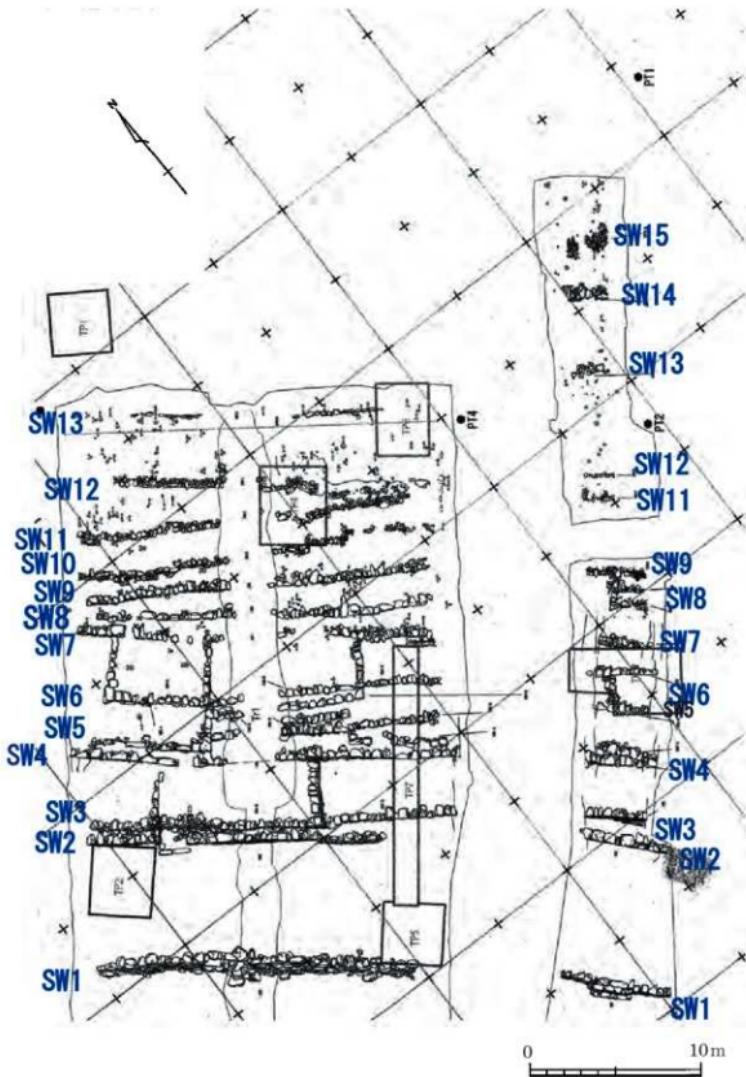
平戸藩の記録では1653年（承応2年）に埋め立てが行われ早岐の町が造られたとあるが、出土した遺物からはそれ以前から埋め立て工事が行われていた形跡がある。次年度の調査ではさらに古い石垣を検出することができると思われる所以で共伴する遺物を精査し埋め立ての開始時期について明らかにしたい。



遺物集中区の調査状況



石垣護岸調査状況（手前 SW1、奥 SW2）



石垣護岸配置図

【調査担当：川畑】(文責：川畑)

## 5. 定光寺前遺跡【遺跡調査番号：202007】

所在地 壱岐市芦辺町湯岳本村触

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 内容確認調査（教育支援）

調査面積 20 m<sup>2</sup>

調査期間 令和2年7月28日～令和2年7月31日

調査区分 範囲確認調査

報告書 未定

処置 調査後埋め戻し

### 立地と環境

深江田原平野の北西部で幡鉢川上流の支流沿いに位置する弥生時代から中世にかけての遺物包含地である。遺跡の周辺は小さな谷状の地形をなし、この最奥部には定光寺という寺院がある。寺には南北朝時代に制作された釈迦如来坐像や室町時代の刻銘がある銅製雲版があり、県指定有形文化財となっている。遺跡はその前面にあり、令和元年度の調査によって中世の貿易陶磁器を含む遺物包含層の広がりが確認されている。

### 調査

調査は長崎県埋蔵文化財センターが主体となり、壱岐高校東アジア歴史・中国語コースの生徒が授業の一環として参加した。令和元年度に設定した調査区（1区・2区。それぞれ2m×5m）について、埋め戻した土を人力により掘り上げることから開始した。1区では、令和元年度に掘削した遺物包含層を掘削し、貿易陶磁器に加え、完形に近い土師皿、線刻模様が刻まれた滑石性紡錘車などを検出した。しかし包含



調査風景

層を全掘するには至らず、遺構は検出されなかった。2区では令和元年度の調査において、地表下約90cmに中世の遺物包含層が存在することが確認されていたが、極めて部分的であったため、深堀部分の拡張を行い、遺物包含層が広がることを再確認した。遺構は検出されなかった。

### まとめ

今回の調査では、令和元年度の調査成果を受け、遺物包含層の完掘と遺構の検出を目標としたが、かなわなかった。しかしながら、貿易陶磁器等の豊富な遺物量に加え、完形に近い土師器皿が出土したことから、当時の生活空間は調査地の近くにあるものと判断される。

【調査担当：寺田・白石・山梨】（文責：白石）

## いわやどうけつ 6. 石屋洞穴【遺跡調査番号：202008・19】

所在地	長崎県佐世保市江迎町乱橋 615-7	調査担当	長崎県埋蔵文化財センター
調査原因	一般国道497号松浦佐々道路建設	報告書	令和4年刊行予定
【調査番号：202008】調査面積	15.6 m <sup>2</sup>	調査期間	令和2年9月9日～令和2年9月16日
調査区分	試堀調査	処置	再調査（試掘）
【調査番号：202019】調査面積	36.5 m <sup>2</sup>	調査期間	令和3年2月24日～令和3年3月12日
調査区分	試掘調査	処置	本調査

### 立地と環境

佐世保市北部の江迎川下流左岸の丘陵に位置する。周辺には第三期層の砂岩が岩壁として露出しているところが多くあり、洞窟や岩陰を形成する箇所もみられる。近くには、長谷津門岩陰遺跡、前田岩陰遺跡など縄文時代の岩陰遺跡が周知されている。

石屋洞穴は東に開口する谷地形最奥部に位置し間口約6m・奥行約8mで中ほどとの天井高約4.6mを測る。洞穴の入り口付近の右側壁面には「石屋大納言」の文字が高さ約50cm・幅約10cmの範囲に刻まれている。信仰の対象と考えられるが帰属年代等詳細は不明である。また、この谷の岩壁沿いには石屋洞穴以外にも岩陰や小洞穴が存在する。

### 調査

令和2年は洞穴内と前庭部に試掘坑を設定した。洞穴内からは硬化面を確認したほか縄文時代のものと思われる石器が23点出土した。令和3年の調査は洞穴の東に位置する岩陰下と洞穴の南に開口する小洞穴の前庭部を中心に試掘坑を設定した。岩陰下からは包含層の堆積が見られ2点の石器が出土した。



遺跡位置図



調査風景（202008）

### まとめ

これまでの2回の調査から、石屋洞穴と南に位置する岩陰下には遺構や遺物の存在が予想されることから令和3年度に本調査を実施することとなった。

【調査担当：松元・川畑】（文責：川畑）

## 7. 宮下貝塚【遺跡調査番号：202009】

所在 地 長崎県五島市富江町富江 4 周辺

調査原因 主要地方道福江・玉之浦線拡幅工事

調査期間 令和 2 年 9 月 30 日～令和 2 年 10 月 6 日

報告 書 刊行予定なし

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査面積 15 m<sup>2</sup>

調査区分 範囲確認調査

処置 要協議

### 立地と環境

五島列島最南端の福江島の南に位置し、只狩山（標高 84m）を給源とする起伏に乏しい低平な溶岩台地上に立地し、海に面した標高 3 ～ 5m 付近に広がる。1965 年の長崎大学らの調査をはじめ、1991 年の長崎県、1996 年の富江町教委によって調査が行われ、貝層中から埋葬人骨や縄文後期初頭～後期中葉を主体とした土器、石器、骨角器が大量に出土した。現在、五島市の史跡に指定されている。



遺跡位置図

### 調査

調査は、道路拡幅部分のうち、埋蔵文化財包蔵地および隣接地該当部分に 2m × 1.5m の調査坑を 5 箇所設置し、南から TP1 ～ 5 として実施した。時間の制約上、掘削土の篩（ふるい）がけは行わなかったが、TP4 南西隅から 30cm 四方のコラムサンプルを採取した。また、土器の口縁部や動物骨については可能な限り出土地点の記録をとって取り上げた。



出土遺物

最も良好に貝層を検出した TP4 の土層は 2 層と 3 層が混土貝層であった。2 層は、スガイ、レイシガイ、オオコシタカガニガラ、クマノコ等岩礁性巻貝を主体とし、動物骨や魚骨も多く含む。縄文後期初頭（坂の下式）を主体とする。3 層も同様に岩礁性巻貝を主体とするが、2 層と比べて混入量はやや少ない。動物骨や魚骨も多く出土した。縄文中期中葉（春日式）を主体とする。

### まとめ

今回の調査では TP3・TP4 で縄文中期～後期初頭にかけての遺構・遺物を確認できた。特に 1965 年および 1996 年の調査地点に隣接する TP4 では分厚い貝層を確認し、この付近を中心に南北に遺跡が広がるものと推測される。

道路工事については、遺構・遺物が良好に残っている可能性が高く、今後協議が必要である。

【調査担当：中尾・岩佐】（文責：岩佐）

## 8. 一乗院遺跡【遺跡調査番号：202010】

**所在地** 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320

**調査担当** 長崎県埋蔵文化財センター

**調査原因** 雲仙温泉園地整備工事

**調査面積** 33.3 m<sup>2</sup>

**調査期間** 令和2年10月5日～令和2年10月14日、令和3年1月19日、2月2・3・25日

**調査区分** 範囲確認調査及び工事立会

**報告書** 刊行予定なし

**位置** 調査後工事

### 立地と環境

国指定名勝・温泉岳の範囲西側に立地し、雲仙温泉の古湯・新湯の間に位置する。小丘陵全体が遺跡範囲となっており、丘陵北麓には現・満明寺が立地し、南麓には旧八万地獄が広がる。周辺の地質は安山岩溶岩や火碎岩が噴気・熱で変成・脱色した灰白色風化層である。

満明寺の由来書き等によると、701年に行基によって温泉山鎮守四面宮（=温泉神社）とともに温泉山満明寺が開山され、1640年に島原の



遺跡位置図

乱により焼失した後に温泉山一乗院として復興されたという。869年に神仏分離令により神社と分離、南串山に本坊が移転される。1980年に仁和寺の認可を受け南串山から独立し雲仙山満明寺となる。

### 調査

工事対象地は小丘陵東側縁辺の平地及び石垣で、東屋を新設予定の2箇所と既存石垣北端部背面、石垣南端部背面に試掘坑を設け調査した。南側東屋部分のTP1・2では厚み10cmに満たない旧表土の下は地山の灰白色風化層であった。北側東屋部分のTP3では10cm厚の表土の下は50cm厚の造成土であった。その下は層厚の薄い2枚の旧表土と、それに挟まれた現代の瓦礫層



丘東側の石垣

が20cm厚ほど堆積していた。石垣背面にあたるTP4では現表土10cm厚、その下に造成層60cm厚、その下に薄い旧表土があり灰白色風化層となる。造成層では現代遺物が出土した。試掘坑に掛かる石垣の築石は、一辺30～40cmの間知石状に正方・長方形に割られたもので、明瞭な矢穴痕跡等は認められなかった。積み方は谷積みや横目積みなど難な造作であった。ほか丘陵中央部には「龍造寺さま」と呼ばれる五輪塔があった。比較的大型で火輪の隅部が上方に伸び隅飾状となる。大名墓をはじめ近世の五輪塔の特徴を示す。

### まとめ

試掘坑や石垣及びその解体において、現代遺物が出土した以外に古い様相を示す状況は確認されなかった。工事に支障なしと判断した。

【調査担当：松元】（文責：松元）

## 9. 津吹遺跡【遺跡調査番号：202011】

所在地 長崎県島原市津吹町 1171・415-3 地先

調査原因 島原道路（出平有明バイパス）建設

調査期間 令和2年11月12日～令和3年1月27日

報告書 令和3年度刊行予定

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

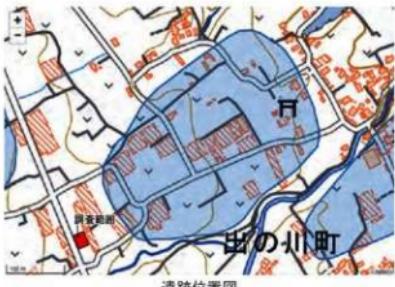
調査面積 1,060 m<sup>2</sup>

調査区分 本調査

処置 調査後工事

### 立地と環境

島原半島東部に位置し、新期雲仙火山の火砕流及び岩屑なだれ堆積物からなる放射状の台地上に立地する。調査地点は標高85mほどで、1981年に踏査が実施され縄文・弥生時代の遺跡として周知された。周辺遺跡には縄文・弥生時代の長貫B遺跡や弥生時代の寺中A遺跡、弥生・古墳時代の原口B遺跡があるが、いずれも発掘調査は行われておらず詳細は不明である。



遺跡位置図

### 調査

基本層序はI層（耕作土・造成土）、II層（黒ボク）、III層（褐色砂質土；鬼界アカホヤ火山灰含む再堆積層）、IV層（黒ボク）、V層（カシノミ層；礫石原火砕流由来）、VI層（褐色硬質ローム層；姶良丹沢火山灰由来）、VII層（黒ボク）、VIII層（橙色シルト土；阿蘇4火山噴出物由来）にまとめることができる。III層上面でビット37基が確認された。いずれもII層由来土を埋土とし、本来的にはII層中の遺構と



砂礫層断面

考えられる。ビットの分布状況に建物跡や柵列等の配置は認められなかった。ほかに多数の自然搅乱（樹痕・倒木痕等）が検出された。その他、III・IV層間の一定範囲に砂礫層の堆積があった。遺跡より上位に堆積していた礫石原火砕流（2万年前）等の堆積物が、雨水等の影響による土石流や流水によつて流出し再堆積した可能性が考えられる（雲仙岳災害記念館・長井学芸員の御教示）。出土遺物では、II層で弥生時代中期土器片が少量まとめて出土した。ほか縄文時代早期の押型文土器片や晩期の土器片、古墳時代の土師器片、中世の土師質土器片、瓦質土器片、貿易陶磁器片が少量出土した。III層のトレンチ調査では黒曜石剝片2点と押型文土器片1点と少量であった。

### まとめ

これまで縄文・弥生時代の遺跡として周知されていたが、本調査の結果、古墳時代及び中世の遺物も少数ではあるが確認された。また、縄文時代前半期とみられる局所的な土石流・流路の跡が検出された。

【調査担当：松元】（文責：松元）

## 10. 原の辻遺跡【遺跡調査番号：202013】

所在地 [閑緑地区] 島原市芦辺町深江鶴亀触

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 原の辻遺跡調査研究事業

調査面積 300 m<sup>2</sup>

調査期間 令和2年11月4日～12月25日

調査区分 範囲内容確認調査

報告書 令和3年度刊行予定

処置 調査後埋め戻し

### 立地と環境

閑緑地区は、原の辻丘陵の北側、安国寺が所在する高台の南側の緩傾斜地に位置する。二つの高台に挟まれた谷頭から南東にやや下った丘陵沿いでは、1954年東亞考古学会、および1995年と1998年に原の辻遺跡調査事務所により、弥生時代中期を中心とした甕棺墓と石棺墓の列状配置が2地点で確認されている。令和2年度の調査地は、谷頭部から南西にやや下った場所で、現在米や麦を栽培する耕作地である。



遺跡位置図

### 調査

令和2年度の調査地の北側および西側においては、平成7年度、平成17年度、平成19年度に、現在の自動車道に沿って調査がなされている。また平成31年度（令和元年度）には、調査地の北東側を調査し、盛土が厚く堆積する状況が確認されている。これらの成果を受けて、次の3つの問題を解明することを目標として、それぞれに100 m<sup>2</sup>の調査区（1区～3区）を設定し、合計300 m<sup>2</sup>の調査を行った。①幡鉢川本流に注ぐ、南北方向の支流の形状（幅や流れる方向など）の把握（1区）。②古代の道の存在の有無と、実態の解明（2区）。③古墳時代前期の遺構の広がりの有無の確認（3区）。以上の3つである。発掘調査の結果、それぞれに対して次の所見を得た。  
 ①：想定された位置に自然流路を確認した。風化玄武岩の岩盤層まで切り込んでいる。下層には礫を多量に含む弥生時代の層が、上層にはまばらに遺物を含む古代の粘土層を確認した。②：推定位から5m程度西側に確認された。③：古墳時代の遺構は見られず、古墳時代までの粘土の堆積を確認した。沼状の堆積と考えられる。



自然流路完掘状況

### まとめ

令和2年度の調査では、当初設定した3つの問題について解明することができたことに加え、2区において、弥生時代中期中葉を中心とする堅穴建物跡が複数棟切り合う状況を確認した。原の辻遺跡周辺の自然地形を復元するための情報を得ることができたほか、集落の変遷を把握するための有効な情報を得ることができた。

【調査担当：白石・山梨】（文責：白石）

## 11. 佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡【遺跡調査番号：202014】

所在地 長崎県佐世保市万代町 10 番地

調査担当 長崎県埋蔵文化財センター

調査原因 佐世保こども・女性・障害者支援センター新築工事 調査面積 400 m<sup>2</sup>

調査期間 令和3年1月12日～令和3年3月17日

調査区分 本調査

報告書 令和3年度刊行予定

処置 調査後工事

### 立地と環境

衛戍病院跡は、将冠岳・但馬岳・弓張岳と烏帽子岳に挟まれた谷底平野の西側に位置する。遺跡の東側を小川が南流し、佐世保川に合流する。地質は、佐世保層群の但馬層（砂岩質）からなる。

軍港の中心であった佐世保鎮守府を取り巻くように各所に砲台や堡壘などの佐世保要塞地帯が構築され、火器を取り扱う部隊として砲兵連隊が設置された。今回の調査地は部隊に附属した病院跡（特に「管理所」、「附属家」）である。

### 調査

今回の調査では、部隊新設時の図面から遺構が残存する箇所を割り出し、都合上、東側のA区から先に調査を行い、続いて西側のB区の調査を実施した。

調査地は病院廃絶後、県立ろう学校、旧保立小学校プール、駐車場として利用されてきた。

特にA区はプール造営時の搅乱が激しく、遺構がほぼ残存していなかったが、B区では比較的良好な状態で検出された。

遺構は、「管理所」跡のレンガ基礎、「附属家」跡のトイレ遺構が出土した。遺物は、レンガ、金属製品（釘や鍵（かすがい）など）、ガラス（窓や瓶など）が出土した。レンガ基礎は、B区では地山を掘削し、A区では盛土をして、玉砂利を含むコンクリートを敷き、その上にオランダ積みで11段積まれていた。使用したレンガは全て同一規格の手抜き成形で、一部のレンガには刻印があり、そこから同市江上町大島や愛知県現岡田煉瓦製造所で製造したレンガである可能性が高い。

### まとめ

以上から、旧陸軍によるレンガ基礎を用いた建築の工法や大量のレンガを発注・生産・運搬・利用する過程の復元を考える上で貴重な資料を得ることができた。

【調査担当：片多・岩佐】（文責：岩佐）



遺跡位置図



調査区全景

12. 下源在高野遺跡（隣接地）、灰ノ久保遺跡、原口B遺跡（隣接地）

岡城（夏峰城）跡（隣接地）

【遺跡調査番号：202015~17・2020】

**所在 地** 下源在高野遺跡（隣接地）：島原市有明町大三東丁 2022-1 地先

灰ノ久保遺跡：島原市有明町大三東甲 1000 他

原口B遺跡（隣接地）：島原市原口町 388- 1 地先

岡城（夏峰城）跡（隣接地）：雲仙市瑞穂町古部 2021 地先

**調査担当** 長崎県埋蔵文化財センター

**調査原因** 島原道路建設

**調査面積** 下源在高野遺跡（隣接地）：187 m<sup>2</sup> 灰ノ久保遺跡：26 m<sup>2</sup>

原口B遺跡（隣接地）：55 m<sup>2</sup> 岡城（夏峰城）跡（隣接地）：40 m<sup>2</sup>

**調査期間** 令和3年2月2日～3月4日

**調査区分** 試掘・範囲確認調査

**報告書** 刊行予定なし

**処置** 一部本調査（下源在高野遺跡（隣接地）、原口B遺跡（隣接地）、継続調査（灰ノ久保遺跡）、慎重工事（岡城（夏峰城）跡（隣接地））

### 立地

今回の調査地点は島原道路内の出平有明バイパス（下源在高野遺跡、灰ノ久保遺跡、原口B遺跡）と瑞穂吾妻バイパス（岡城（夏峰城）跡）区間にあたる。

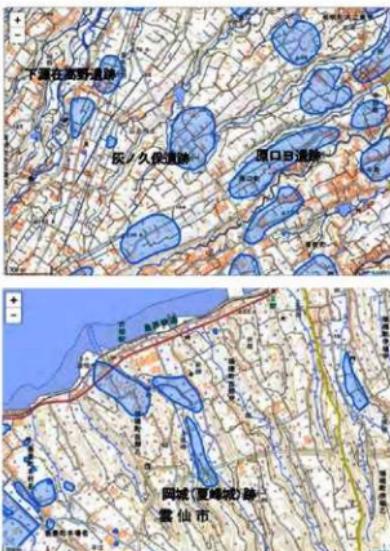
下源在高野遺跡、灰ノ久保遺跡、原口B遺跡は島原半島東部の新期雲仙火山活動によって形成された火山麓扇状地下端に位置する。遺跡は雲仙岳から放射状に延びる舌状台地上に立地し、標高は70～95mを測る。調査前は対象地のほとんどが畑として利用されていた。

岡城（夏峰城）跡は島原半島北部に位置し、古期雲仙火山活動で形成された火山麓扇状地の舌状台地上に立地する。調査対象地は城跡から谷を挟んだ東側の台地上にあたり、1970年代の航空写真では離れ小島状の独立丘陵となっている。

### 調査

①出平有明バイパス区間

下源在高野遺跡、灰ノ久保遺跡、原口B遺跡周辺は島原道路（出平有明バイパス）建設に伴い平成30年度以降試掘・範囲確認調査が実施され、周辺の基本層序については長崎県埋蔵文化財調査年報28において以下のように整理されている（松元2020）。



遺跡位置図（上：出平有明BP、下：瑞穂吾妻BP）

I層（耕作土等）、II層（黒ボク・縄文時代前期～中世の包含層）、III層（褐色砂質土・鬼界アカホヤ由来か）、IV層（黒ボク・縄文時代早期か）、V層（黒褐色混バミス硬質土：通称カシノミ層・礫石原火碎流由来か。後期旧石器時代相当か）、VI層（褐色硬質土：AT火山灰由来か。後期旧石器時代相当）、VII層（黒ボク）、VIII層（黄橙色シルト土）

今回の調査地についても谷部など一部を除いて、この基本層序に則って堆積状況の把握を行った。



下源在高野遺跡（隣接地）ではTP1～24の24箇所の調査坑を設定し調査を行った。地形としてはTP1～5、TP14～20、TP24が台地上に、TP6～13、TP21～23が谷部にあたる。TP1、4、15を除き耕作等の削平によりIV層以上はほとんど残存していない。また、TP3、21、22、23では造成土下でVII層、TP6、7、11、12ではI層下で一本松火碎流由来と考えられる風化岩盤状の混礫硬質砂質土が検出された。谷底にあたるTP8、9、10では土石流由来と考えられる礫が確認でき、氾濫原であったと考えられる。TP1、2、4、5、13、14、16～20ではVI層、VII層の堆積が確認された。

遺物はTP1～5、14で確認されている。TP1、4ではIII～IV層から縄文土器片や石鏃が、TP2、5、14ではV～VII層から黒曜石や安山岩のフレーク、剥片が出土した。特にTP14ではVI層上部で狭い範囲に黒曜石等のチップがまとまって出土しており、石器製作址が存在する可能性がある。またTP16～20では遺物が出土しなかったがVI、VII層が残存しており、TP14での遺物出土状況や旧石器時代の遺物の分布密度を考慮すると周辺に旧石器時代の遺物が分布している可能性がある。



下源在高野遺跡（隣接地）TP2 土層断面



下源在高野遺跡（隣接地）調査坑配置図

灰ノ久保遺跡ではTP25、28、29の3箇所の調査坑を設定し、調査を行った。TP28、29では造成土下でI、III、IV、VI層の堆積を確認したが、造成土が約2mと厚く繋まりも弱かったため、安全を考慮し調査坑壁面での土層の確認のみで精査は行っていない。そのため遺構・遺物は確認していないが包含層が残存していることから、本調査の必要性は近隣の窓での範囲確認調査の結果を待って判断すべきと考えられる。



灰ノ久保遺跡調査坑配置図



灰ノ久保遺跡 TP28 土層断面（造成土下位）

原口B遺跡ではTP26、27、30～35の8箇所の調査坑を設定しており、地形としてはTP26、27、30、31が台地上に、TP32～35が谷部にある。II層はいずれの調査坑でも削平されており、TP32、33ではVI層上半以上が削平を受けている。遺物はTP27でVI層中から今峰型ナイフ形石器と思われる石器が、TP30でVI層中から、TP31でV層上面から黒曜石や安山岩の剥片が出土している。

TP34、35は周辺地形から谷部にあたるものと考えられるが、造成土下でVI層やⅢ層由来のブロックを含む黄褐色土の堆積が見られ、さらに黄褐色土下では一本松火碎流由来と考えられる硬質混礫砂質



原口B遺跡（隣接地）調査坑配置図



原口B遺跡（隣接地）TP27 出土ナイフ形石器

土を確認した。火碎流あるいは土石流が谷部を流下したことによる堆積と考えられる。

②瑞穂吾妻バイパス区間

岡城（夏峰城）跡（隣接地）では計 6 箇所の調査坑を設定しており、TP1～5 は谷に面した平坦地に、TP6 は TP1～5 を設定した平坦地東側の平坦面に設定した。

TP1、4、5 では表土直下で周辺の火山麓扇状地を形成する古期雲仙火山の噴出物と考えられる硬質混礫砂質土を検出した。この硬質混礫砂質土は周辺の基盤層と考えられる。上面で精査を行ったが、構造は確認されなかった。

TP2、3 では表土下でプラスチック片などを含む堆積が確認された。造成土下位では西に向かって落ち込む TP1 同様の硬質混礫砂質土が検出されており、当該平坦地の西半分程度が近年造成されたものと考えられる。TP6 でも硬質混礫砂質土直上の砂層中より塩ビ管の破片が出土している。

以上のように調査対象地では包含層は確認できなかった。調査地点の雲仙火山側には広域農道を挟み県酪農業協同組合の施設があるが、その敷地と調査地点は 10m 近い比高差があり、調査対象地は旧地形から大きく削平を受けているものと考えられる。



## まとめ

① 出平有明バイパス区間

平成 30 年度からの一帯の試掘範囲確認調査により埋蔵文化財の状況が確認されてきたが、特に今回の調査では AT 火山灰由来と考えられる VI 層中から後期旧石器時代の遺物が出土することが明らかになった。周辺には用地取得等の関係により未調査の箇所があり、令和 3 年度以降も引き続き調査を行う必要がある。

② 瑞穂吾妻バイパス区間

令和 2 年度調査地点については表土あるいは造成土下で基盤層が検出され、大規模な地形改変が行われていることが確認された。

【調査担当：山梨】（文責：山梨）

## 報告書抄録

ふりがな	ながさきけんmaiぞうぶんかざいちょうさねんぼうにじゅうきゅう					
書名	長崎県埋蔵文化財調査年報29					
副書名	令和2年度調査分					
巻次	29					
シリーズ名	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書					
シリーズ番号	第40集					
編集機関	長崎県埋蔵文化財センター					
所在地	〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1 TEL0920(45)4080					
発行年月日	2021年8月31日					
所収遺跡名	所在地	遺跡コード 市町 遺跡番号	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因	
長崎西役所跡	長崎市	42201	20200519～20201030	1,296.0	跡地活用	
			20200701～20200821	500.0	建物基礎解体	
			20201105～20210226	1,215.0	跡地活用	
根引池遺跡（隣接地）	佐世保市	42202	20200525～20200605	36.0	道路	
			20210202～20210212	62.0	道路	
高岩の山城（隣接地）	佐世保市	-	20200609～20200619	16.0	道路	
早岐漁戸遺跡	佐世保市	42202	493	20200706～20210121	1,570.0	河川
定光寺前遺跡	壱岐市	42210	379	20200728～20200731	20.0	保存目的の範囲 内容確認調査
石屋洞穴	佐世保市	42202	510	20200909～20200916	15.6	道路
				20210224～20210312	36.5	道路
宮下貝塚	五島市	42211	059	20200930～20201006	15.0	道路
一乗院遺跡	雲仙市	42213	174	20201005～20201014, 20210119・0202・03・25	33.3	公園造成
津吹遺跡	島原市	42203	019	20201112～20210127	1,060.0	道路
原の辻遺跡(園緑地区)	壱岐市	42210	424	20201104～20201225	300.0	保存目的の範囲 内容確認調査
佐世保要塞砲兵連隊衛戍病院跡	佐世保市	42202	509	20210112～20210317	400.0	建物建替え
下源在高野遺跡（隣接地）	島原市	42203	075	20210202～20210226	187.0	道路
灰ノ久保遺跡（隣接地）	島原市	42203	085	20210202～20210226	26.0	道路
原口B遺跡（隣接地）	島原市	42203	003	20210202～20210226	55.0	道路
岡城（夏峰城）跡（隣接地）	雲仙市	42213	073	20210302～20210304	40.0	道路

長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第40集

長崎県埋蔵文化財調査年報 29  
〔令和2年度調査分〕

2021年8月31日

発行 長崎県教育委員会  
長崎市尾上町3番1号

印刷 株式会社 昭和堂  
諫早市長野町1007-2